

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

| | |
|------|---------------|
| 学校名 | 専門学校 公務員ゼミナール |
| 設置者名 | 学校法人 立川学園 |

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

| 課程名 | 学科名 | 夜間・通信制の場合 | 実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数 | 省令で定める基準単位数又は授業時数 | 配置困難 |
|----------|----------|-----------|-----------------------------|-------------------|------|
| 文化教養専門課程 | 公務員本科 | 夜・通信 | — | 80時間 | ※ |
| | 公務員ビジネス科 | 夜・通信 | — | 160時間 | ※ |
| | 公務員特別科 | 夜・通信 | — | 80時間 | ※ |
| | 公務員速成科 | 夜・通信 | — | 80時間 | ※ |
| | | 夜・通信 | — | | |
| (備考) | | | | | |

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

| |
|-----------------|
| 配置困難であるため、公表せず。 |
|-----------------|

3. 要件を満たすことが困難である学科

| |
|--|
| 学科名 公務員本科、公務員ビジネス科、公務員特別科、公務員速成科 |
| (困難である理由) 本校の授業内容は、特定の職業を想定したものではなく、公務員採用試験に合格するための授業であり、その内容は汎用的な知識の習得になる。 そのため、実務経験のある教員等による授業科目の配置は困難である。 授業科目としての配置は困難であるが、各種公的機関の業務説明会、職場見学会、自治体が主催するボランティア業務への参加、OB・OGによる業務説明などを実施している。 |

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

| | |
|------|---------------|
| 学校名 | 専門学校 公務員ゼミナール |
| 設置者名 | 学校法人 立川学園 |

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.01-group.com/wpcms/wp-content/themes/lct/pdf/13.役員一覧.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

| 常勤・非常勤の別 | 前職又は現職 | 任期 | 担当する職務内容 や期待する役割 |
|----------|-------------------|------------------------|----------------------|
| 非常勤 | 株式会社実務教育出版 副社長 | 2020.6.1～ 2022.3.31 | 学校運営・経営・実践的教育についての助言 |
| 非常勤 | 有限会社肉の松万 代表取締役 | 2020.6.1～ 2022.3.31 | 学校運営・経営についての助言 |
| (備考) | | | |

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

| | |
|------|---------------|
| 学校名 | 専門学校 公務員ゼミナール |
| 設置者名 | 学校法人 立川学園 |

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

| | |
|--|---|
| 1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 | |
| (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・立川学園教務部において、授業科目ごとに、概要、学習目標、授業計画、評価方法、成績評価基準等を記載した、カリキュラム・シラバス案を作成する。 ・当該科目担当者は、カリキュラム・シラバス案を基に授業内容を精査し、当該年度の授業計画を確定する。 ・授業計画(シラバス)は、本校ホームページにて新年度4月頃に公表する。 | |
| 授業計画書の公表方法 | https://www.01-group.com/release |
| 2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 | |
| (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・本校は、「成績評価・単位認定・卒業の認定等に関する規定」に則り、学習成果を厳格かつ適正に評価している。 ・履修した科目の成績評価は、試験の成績及び授業成績等を総合考慮して100点法により行う。 ・成績評価は、A、B、C、Dの評語で表示し、次の基準によるものとする。 ・A：100点～80点、B：79点～70点、C：69点～60点、D：59点以下 ・C以上の成績評価を得たものを合格とし、Dを不合格とする。 ・各授業科目の単位数を定めるに当たっては、17単位時間以上30単位時間未満の授業をもって1単位とする。 | |

| | |
|--|---|
| <p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学業成績を図る基準として、成績評価に加え、履修科目の成績の平均値(GPA制度)により評価を行う。 ・GPAによる評価は、成績評価に対してGPを与え、その点数に各科目の単位数を掛け、その総和を履修した授業科目の総単位数で割って得られる1単位当たりの平均ポイントとする。 ・GPは、それぞれ次のとおり付与する。 ・A⇒3、B⇒2、C⇒1、D⇒0 | |
| <p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p> | <p>https://www.01-group.com/wpcms/wp-content/themes/lct/pdf/6.成績評価・卒業の認定等に関する規定.pdf</p> |
| <p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校では、広く社会に貢献できる社会人としての知識と教養を身につけた者に対して、卒業を認定している。具体的には、以下の項目を満たした場合に卒業の認定をする。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 公務員として社会に貢献できる知識と教養がある者 2. 出席すべき日数の3分の2以上の出席があること 3. 各学科の定める卒業認定単位数を取得していること ・最終的な卒業の認定は、教員で構成される卒業認定会議において課程の修了が認められた者について、校長が卒業の認定を行う。 | |
| <p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p> | <p>https://www.01-group.com/wpcms/wp-content/themes/lct/pdf/Diploma_Policy.pdf https://www.01-group.com/wpcms/wp-content/themes/lct/pdf/6.成績評価・卒業の認定等に関する規定.pdf</p> |

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

| | |
|------|---------------|
| 学校名 | 専門学校 公務員ゼミナール |
| 設置者名 | 学校法人 立川学園 |

1. 財務諸表等

| 財務諸表等 | 公表方法 |
|--------------|---|
| 貸借対照表 | https://www.01-group.com/release |
| 収支計算書又は損益計算書 | https://www.01-group.com/release |
| 財産目録 | https://www.01-group.com/release |
| 事業報告書 | https://www.01-group.com/release |
| 監事による監査報告（書） | https://www.01-group.com/release |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|----------|----|---------------------------|-------------|------------|-------------|------------|----|
| 文化・教養 | | 文化教養専門課程 | 公務員本科 | | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 1年 | 昼 | 800 単位時間 | 815 単位時間 | 70 単位時間 | 240 単位時間 | 35 単位時間 | |
| | | | 1160 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 30人 | | 25人 | 0人 | 6人 | 2人 | 8人 | |

| |
|--|
| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） |
| <p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> 立川学園教務部において、授業科目ごとに、概要、学習目標、授業計画、評価方法、成績評価基準等を記載した、カリキュラム・シラバス案を作成する。 当該科目担当者は、カリキュラム・シラバス案を基に授業内容を精査し、当該年度の授業計画を確定する。 授業計画（シラバス）は、本校ホームページにて新年度4月頃に公表する。 |
| 成績評価の基準・方法 |
| <p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> 本校は、「成績評価・単位認定・卒業の認定等に関する規定」に則り、学習成果を厳格かつ適正に評価している。 履修した科目の成績評価は、試験の成績及び授業成績等を総合考慮して100点法により行う。 成績評価は、A、B、C、Dの評語で表示し、次の基準によるものとする。 A：100点～80点、B：79点～70点、C：69点～60点、D：59点以下 C以上の成績評価を得たものを合格とし、Dを不合格とする。 各授業科目の単位数を定めるに当たっては、17単位時間以上30単位時間未満の授 |

| |
|--|
| 業をもって1単位とする。 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校では、広く社会に貢献できる社会人としての知識と教養を身につけた者に対して、卒業を認定している。具体的には、以下の項目を満たした場合に卒業の認定をする。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 公務員として社会に貢献できる知識と教養がある者 2. 出席すべき日数の3分の2以上の出席があること 3. 各学科の定める卒業認定単位数を取得していること ・最終的な卒業の認定は、教員で構成される卒業認定会議において課程の修了が認められた者について、校長が卒業の認定を行う。 |
| 学修支援等 |
| <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習方法、進路に関する相談、生活指導を全教職員が情報を共有し指導している。 ・欠席した場合でも授業内容をWEBやDVDで視聴できるように整備している。 ・オンライン授業を実施し、休校要請がなされた場合でも、学習の遅れがない体制を整えている。 |

| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|--|---------------|-------------------|---------------|
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 (自営業を含む。) | その他 |
| 22人 (100%) | 4人 (18.2%) | 15人 (68.2%) | 3人 (13.6%) |
| (主な就職、業界等) 公務員、準公務員 | | | |
| (就職指導内容) <ul style="list-style-type: none"> ・公務員筆記試験対策 ・2次試験対策（論作文、面接指導） ・学内の各官公庁の業務説明会及び各官公庁開催の業務説明会 ・現役公務員である、OB、OGによる仕事内容の説明 | | | |
| (主な学修成果（資格・検定等）) 公務員採用試験合格 | | | |
| (備考)（任意記載事項） | | | |

| 中途退学の現状 | | |
|----------|----------------|------|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 23人 | 1人 | 4.3% |

| |
|--|
| (中途退学の主な理由) 国家公務員一般職(佐賀労働局)に最終合格し、1月から労働局で働くことになったため、途中退学となった。 |
| (中退防止・中退者支援のための取組) ・欠席する場合は、学校への連絡を必ず入れるように指導しており、欠席が多い学生については、個別面談、保護者への連絡相談を徹底している。 |

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|--------|----|-----------------------|---------------|------------|-------------|------|------------|
| 文化・教養 | | 文化教養専門課程 | 公務員ビジネス科 | ○ | | | |
| 修業年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1,600 単位時間 | 1,815 単位時間 | 90 単位時間 | 420 単位時間 | | 35 単位時間 |
| | | | 2,360 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 40人 | | 8人 | 0人 | 6人 | 2人 | 8人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) ・立川学園教務部において、授業科目ごとに、概要、学習目標、授業計画、評価方法、成績評価基準等を記載した、カリキュラム・シラバス案を作成する。 ・当該科目担当者は、カリキュラム・シラバス案を基に授業内容を精査し、当該年度の授業計画を確定する。 ・授業計画(シラバス)は、本校ホームページにて新年度4月頃に公表する。 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) ・本校は、「成績評価・単位認定・卒業の認定等に関する規定」に則り、学習成果を厳格かつ適正に評価している。 ・履修した科目の成績評価は、試験の成績及び授業成績等を総合考慮して100点法により行う。 ・成績評価は、A、B、C、Dの評語で表示し、次の基準によるものとする。 ・A：100点～80点、B：79点～70点、C：69点～60点、D：59点以下 ・C以上の成績評価を得たものを合格とし、Dを不合格とする。 ・各授業科目の単位数を定めるに当たっては、17単位時間以上30単位時間未満の授業をもって1単位とする。 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) ・本校では、広く社会に貢献できる社会人としての知識と教養を身につけた者に対して、卒業を認定している。具体的には、以下の項目を満たした場合に卒業の認定をする。 1. 公務員として社会に貢献できる知識と教養がある者 2. 出席すべき日数の3分の2以上の出席があること 3. 各学科の定める卒業認定単位数を取得していること ・最終的な卒業の認定は、教員で構成される卒業認定会議において課程の修了が認め |

| |
|--|
| られた者について、校長が卒業の認定を行う。 |
| 学修支援等 (概要) ・学習方法、進路に関する相談、生活指導を全教職員が情報を共有し指導している。 ・欠席した場合でも授業内容をWEBやDVDで視聴できるように整備している。 ・オンライン授業を実施し、休校要請がなされた場合でも、学習の遅れがない体制を整えている。 |

| | | | |
|--|---------------|-------------------|---------------|
| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 (自営業を含む。) | その他 |
| 3人 (100%) | 1人 (33.3%) | 1人 (33.3%) | 1人 (33.3%) |
| (主な就職、業界等) 公務員、準公務員 | | | |
| (就職指導内容) ・公務員筆記試験対策 ・2次試験対策（論作文、面接指導） ・学内の各官公庁の業務説明会及び各官公庁開催の業務説明会 ・現役公務員である、OB、OGによる仕事内容の説明 | | | |
| (主な学修成果（資格・検定等）) 公務員採用試験合格 | | | |
| (備考)（任意記載事項） | | | |

| | | |
|--|----------------|-----|
| 中途退学の現状 | | |
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 3人 | 0人 | 0% |
| (中途退学の主な理由) | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) ・欠席する場合は、学校への連絡を必ず入れるように指導しており、欠席が多い学生については、個別面談、保護者への連絡相談を徹底している。 | | |

| | | | | | |
|----------|----------|---------------------------|-------------|-------|----|
| 分野 | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | |
| 文化・教養 | 文化教養専門課程 | 公務員特別科 | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 |

| | | | | | | | |
|--------|------|----------|--------------|-------------|------|------|------|
| 1年 | 昼 | 800 単位時間 | 1160 単位時間 | 100 単位時間 | 単位時間 | 単位時間 | 単位時間 |
| | | | 1,260 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | | |
| 30人 | 15人 | 0人 | 6人 | 2人 | 8人 | | |

| |
|--|
| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） |
| <p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> 立川学園教務部において、授業科目ごとに、概要、学習目標、授業計画、評価方法、成績評価基準等を記載した、カリキュラム・シラバス案を作成する。 当該科目担当者は、カリキュラム・シラバス案を基に授業内容を精査し、当該年度の授業計画を確定する。 授業計画（シラバス）は、本校ホームページにて新年度4月頃に公表する。 |
| 成績評価の基準・方法 |
| <p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> 本校は、「成績評価・単位認定・卒業の認定等に関する規定」に則り、学習成果を厳格かつ適正に評価している。 履修した科目の成績評価は、試験の成績及び授業成績等を総合考慮して100点法により行う。 成績評価は、A、B、C、Dの評語で表示し、次の基準によるものとする。 A：100点～80点、B：79点～70点、C：69点～60点、D：59点以下 C以上の成績評価を得たものを合格とし、Dを不合格とする。 各授業科目の単位数を定めるに当たっては、17単位時間以上30単位時間未満の授業をもって1単位とする。 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| <p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> 本校では、広く社会に貢献できる社会人としての知識と教養を身につけた者に対して、卒業を認定している。具体的には、以下の項目を満たした場合に卒業の認定をする。 <ol style="list-style-type: none"> 公務員として社会に貢献できる知識と教養がある者 出席すべき日数の3分の2以上の出席があること 各学科の定める卒業認定単位数を取得していること 最終的な卒業の認定は、教員で構成される卒業認定会議において課程の修了が認められた者について、校長が卒業の認定を行う。 |
| 学修支援等 |
| <p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習方法、進路に関する相談、生活指導を全教職員が情報を共有し指導している。 欠席した場合でも授業内容をWEBやDVDで視聴できるように整備している。 オンライン授業を実施し、休校要請がなされた場合でも、学習の遅れがない体制を整えている。 |

| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|--|---------------|-------------------|---------------|
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 （自営業を含む。） | その他 |
| 14人 (100%) | 2人 (14.3%) | 6人 (42.9%) | 6人 (42.9%) |
| (主な就職、業界等) 公務員、準公務員 | | | |
| (就職指導内容) ・公務員筆記試験対策 ・2次試験対策（論作文、面接指導） ・学内の各官公庁の業務説明会及び各官公庁開催の業務説明会 ・現役公務員である、OB、OGによる仕事内容の説明 | | | |
| (主な学修成果（資格・検定等）) 公務員採用試験合格 | | | |
| (備考)（任意記載事項） | | | |

| 中途退学の現状 | | |
|--|----------------|-----|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 14人 | 0人 | 0% |
| (中途退学の主な理由) | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) ・欠席する場合は、学校への連絡を必ず入れるように指導しており、欠席が多い学生については、個別面談、保護者への連絡相談を徹底している。 | | |

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|----------|----|---------------------------|--------------|-------------|-------|------|------------|
| 文化・教養 | | 文化教養専門課程 | 公務員速成科 | | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | 昼 | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 1年 | | 800 単位時間 | 1260 単位時間 | 100 単位時間 | | | 1,360 単位時間 |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 30人 | | 16人 | 0人 | 6人 | 2人 | 8人 | |

| |
|--|
| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） |
| <p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立川学園教務部において、授業科目ごとに、概要、学習目標、授業計画、評価方法、成績評価基準等を記載した、カリキュラム・シラバス案を作成する。 ・当該科目担当者は、カリキュラム・シラバス案を基に授業内容を精査し、当該年度の授業計画を確定する。 ・授業計画（シラバス）は、本校ホームページにて新年度4月頃に公表する。 |
| 成績評価の基準・方法 |
| <p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校は、「成績評価・単位認定・卒業の認定等に関する規定」に則り、学習成果を厳格かつ適正に評価している。 ・履修した科目の成績評価は、試験の成績及び授業成績等を総合考慮して100点法により行う。 ・成績評価は、A、B、C、Dの評語で表示し、次の基準によるものとする。 ・A：100点～80点、B：79点～70点、C：69点～60点、D：59点以下 ・C以上の成績評価を得たものを合格とし、Dを不合格とする。 ・各授業科目の単位数を定めるに当たっては、17単位時間以上30単位時間未満の授業をもって1単位とする。 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| <p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校では、広く社会に貢献できる社会人としての知識と教養を身につけた者に対して、卒業を認定している。具体的には、以下の項目を満たした場合に卒業の認定をする。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 公務員として社会に貢献できる知識と教養がある者 2. 出席すべき日数の3分の2以上の出席があること 3. 各学科の定める卒業認定単位数を取得していること <p>・最終的な卒業の認定は、教員で構成される卒業認定会議において課程の修了が認められた者について、校長が卒業の認定を行う。</p> |
| 学修支援等 |
| <p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習方法、進路に関する相談、生活指導を全教職員が情報を共有し指導している。 ・欠席した場合でも授業内容をWEBやDVDで視聴できるように整備している。 ・オンライン授業を実施し、休校要請がなされた場合でも、学習の遅れがない体制を整えている。 |

| | | | |
|-----------------------------|---------------|-------------------|---------------|
| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 (自営業を含む。) | その他 |
| 17人 (100%) | 3人 (17.6%) | 10人 (58.8%) | 4人 (23.5%) |
| (主な就職、業界等) 公務員、準公務員 | | | |

| |
|--|
| (就職指導内容) <ul style="list-style-type: none"> ・ 公務員筆記試験対策 ・ 2次試験対策（論作文、面接指導） ・ 学内の各官公庁の業務説明会及び各官公庁開催の業務説明会 ・ 現役公務員である、OB、OGによる仕事内容の説明 |
| (主な学修成果（資格・検定等）) 公務員採用試験合格 |
| (備考)（任意記載事項） |

| | | |
|---|----------------|-----|
| 中途退学の現状 | | |
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 17人 | 0人 | 0% |
| (中途退学の主な理由) | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) <ul style="list-style-type: none"> ・ 欠席する場合は、学校への連絡を必ず入れるように指導しており、欠席が多い学生については、個別面談、保護者への連絡相談を徹底している。 | | |

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

| 学科名 | 入学金 | 授業料 (年間) | その他 | 備考(任意 記載事項) |
|--|----------|-------------|----------|----------------|
| 公務員本科 | 160,000円 | 490,000円 | 100,000円 | 実習費 |
| 公務員ビジネス科 | 160,000円 | 520,000円 | 100,000円 | 実習費 |
| 公務員特別科 | 160,000円 | 590,000円 | 0円 | |
| 公務員速成科 | 160,000円 | 590,000円 | 0円 | |
| 修学支援（任意記載事項） <ul style="list-style-type: none"> ・ 入学時就学支援制度として、16万円～5万円の学費を免除。 | | | | |

b) 学校評価

| |
|---|
| 自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.01-group.com/wpcms/wp-content/themes/lct/pdf/10.自己評価表%E3%80%80令和2年(佐賀校).pdf |
| 学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制） <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校関係者評価は、本校の定める学校評価実施規定に則り実施する。 【評価項目】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育理念、目標 |

- ・学校運営
- ・教育活動
- ・学習成果
- ・学生支援
- ・教育環境
- ・学生の受入れ募集
- ・財務
- ・法令等の遵守
- ・社会貢献、地域貢献

【評価委員の構成】

- (1) 関連業界等関係者 3名以内
 - (2) 卒業生 3名以内
 - (3) 教育に関し知見を有する者 3名以内
 - (4) その他校長が必要と認める者 3名以内
- 学校関係者評価委員の人数は5人以内とする。

【評価結果の活用方法】

- ・評価結果は、教職員全員で活用し、教育活動及び学校運営等の質の保証と向上に継続的に努める。

学校関係者評価の委員

| 所属 | 任期 | 種別 |
|----------------------|------------------------|---------------|
| 佐賀県高等学校 元教諭 | 2020. 6. 1～2022. 3. 31 | 教育に関し知見を有する者 |
| 株式会社西島製作所 部長 | 2020. 6. 1～2022. 3. 31 | その他校長が必要と認める者 |
| 株式会社RELI STYLE 代表取締役 | 2020. 6. 1～2022. 3. 31 | その他校長が必要と認める者 |
| 合同会社EL's 代表社員 | 2020. 6. 1～2022. 3. 31 | 関連業界等関係者 |

学校関係者評価結果の公表方法

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
<https://www.01-group.com/release>

第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
<https://www.01-group.com/>